

臭素

Bromine

Br₂

1. 別名

ブロミン

2. 性質

液体 赤褐色 刺激臭

- 分子量； 159.8
- 比重； 3.1
- 蒸気密度； 5.52 ● 沸点； 58.8℃
- 蒸気圧； 23.3kPa(蒸気濃度21.7%)
- 溶解性； 微 (20℃ 3.58g/100g水)
- 許容濃度； 日本0.1ppm
米国0.1ppm (TWA)
0.2ppm (STEL)

3. 危険性・有害性

人体への影響； 液が皮膚に付着すると、潰瘍を起す。高濃度の蒸気は、催涙性の刺激があり、吸入すると粘膜が刺激され、せき、鼻出血、めまい、頭痛を起し、さらに重傷の場合は肺水腫などを起すことがある。

濃度と作用

濃度 (ppm)	作用
0.1~0.2	かすかに臭気を感じる。
0.3~0.45	作業が困難となる。
1以上	催涙性が現れる。
10以上	のどなどを激しく刺激する。
40~60	短時間で生命危険。
1000	即死。

4. 他の分析方法

吸光光度法 (ヨウ化カリウム法)

5. 用途及び発生場所

医薬品、染料・その他の臭化物の製造、殺菌剤、酸化剤、皮革用、冶金用

6. 関係法令

毒劇法 (劇物)、大気法、危険物船送則 (腐食性物質)、IMDGコード・クラス8

7. 検知管の適用

